

議案第 1 号

横手北スマートインターチェンジ整備効果及び利用促進策について

【要旨】

昨年度までの横手北スマート I C 地区協議会で承認いただいた、横手北スマートインターチェンジの利用促進策の実施状況と、データ収集等により検証を行った整備効果について報告するとともに、今後の利用促進策を協議いただくもの。

▼利用促進策

①横手北スマート I C の周知徹底・強化

- ・横手北スマート I C 利用促進のためのチラシを作成し、秋田・湯沢商工会議所に依頼して、各商工会議所の会員企業・官公庁・県内外の商工会議所等に配付。
- ・横手市役所公式 Facebook に秋田自動車道 20 周年について掲載。

▼整備効果

①供用開始後 4 年目の利用状況

- ・横手北スマート I C の 1 日あたりの平均利用交通量は、計画交通量 970 台/日に対し 910 台/日 (▲60 台/日)。
- ・横手北スマート I C と前後 I C (横手 I C ・大曲 I C) の 1 日あたりの平均利用交通量合計は、横手北スマート I C 開業前の約 10,600 台/日に対し 9,010 台/日 (▲1,590 台/日)。

②高速道路の利便性向上

- ・大森・大雄地域や市北西部からの高速道路へのアクセス性が向上し、地域住民の広域活動の活性化につながっている。
- ・高速バス湯沢秋田線の運行時間が 7 分短縮している。

③地域活性化の支援

- ・各種イベントや運動施設等を利用する方々が利用。地域間交流の促進に寄与している。

④医療支援の強化

- ・大仙市から平鹿総合病院への救急搬送時間が短縮され、救急救命医療に貢献している。

⑤地域災害支援の強化

- ・災害応援自治体から横手市内の洪水避難場所への迅速な救護活動、救援物資輸送が可能となり、地域住民の安全・安心につながる。

▼今後の利用促進策

- ①アンケート調査の結果により市民の利用実態等を分析し、今後の利用促進策を検討。
- ②利用割合の低い十文字地域等へのPR活動の実施。